

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】(小学校用)

都道府県名	茨城県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	岩瀬町立岩瀬小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	2	3	20	30
児童数	100	91	87	94	87	68	7	534	

研究の概要

1. 研究主題

学校だからこそ学べる本物の学力を育む - 個が生きる学習づくりをめざして -

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年～6年 算数科(コース選択少人数指導) 児童の理解の状況に差が出やすい教科, 学年であるため ・ 1年, 2年 算数科(学習支援ボランティアの活用) 担任との授業を基本とし, よりきめ細かな指導体制をつくるため ・ 5年, 6年 理科(教科担任制) 教師の専門性を生かした指導が可能であるため ・ 3年～6年 総合的な学習の時間(ふるさと学習) 地域の教育力を生かした指導が可能であるため ・ 1年～6年 (発展的・補充的学習の時間の確保) 基礎的・基本的学習内容を定着させるため
--

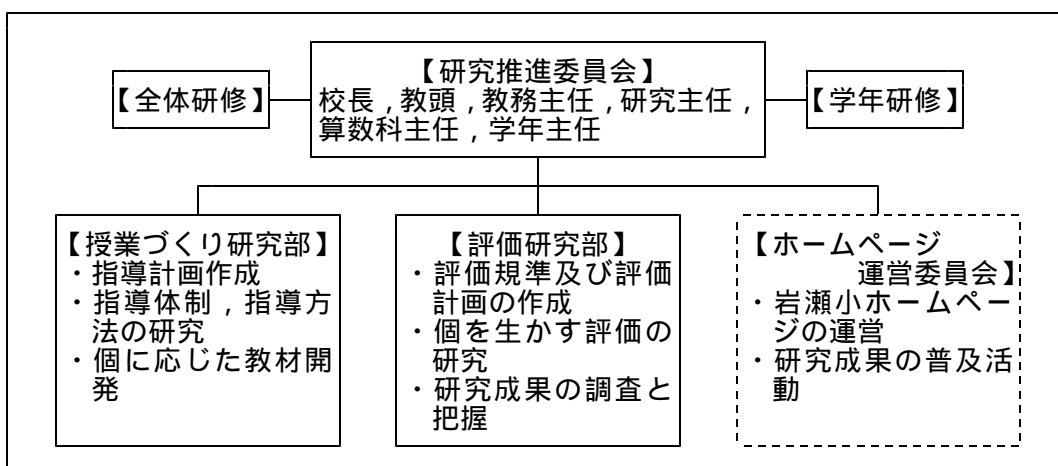
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ</p> <p style="text-align: center;">学校だからこそ学べる本物の学力を育む - 個に応じた指導のための指導体制・指導方法の工夫改善 -</p> <p>研究の見通し(仮説) 児童一人一人の力や興味・関心, 心の育ちに柔軟に寄り添うことのできる指導体制や指導方法を工夫することによって, 児童の学ばずにはいられない思いをふくらませ, 豊かな心で自ら学び続けていける「本物の学力」を育むことができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p style="padding-left: 20px;">個性に応じた学習 - 算数科</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 個性に応じた指導体制づくり...コース選択少人数指導</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 学ぶ楽しさあふれる授業づくり...児童の個性で選択できる教材開発</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 基礎的な内容の定着のための支援...放課後の補充的学習の場の設定</p> <p style="padding-left: 20px;">エ やる気と自信につながる評価の工夫...習熟度別指導に対応した評価計画づくりとパソコンでの評価ファイル管理の工夫</p> <p style="padding-left: 20px;">ふるさといわせを学ぶ学習 - 生活科・総合的な学習の時間</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 魅力的な「人・もの・こと」との出会いの場づくり...地域学習材の開発</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 児童の思いが持続するような体験と体験を結ぶ教師の支援</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 次の学びへつなげる評価の工夫...評価規準の明確化とポートフォリオの活用</p> <p style="padding-left: 20px;">異年齢集団活動でのふれあい学習 - 特別活動</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 異年齢集団活動の日常化...縦割り班による清掃や児童会活動, 行事</p>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ</p> <p style="text-align: center;">学校だからこそ学べる本物の学力を育む - 個が生きる学習づくりをめざして -</p> <p>研究の見通し(仮説) 児童や教師の個性，地域の特性をより発揮できる指導体制や指導方法を工夫し，「個が生きる学習」を実践していけば，個性を生かして自分を伸ばしていける児童が育ち，将来に渡って学び続けていく「本物の学力」を育むことができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>コース選択少人数指導 - 3年～6年算数科</p> <p>ア 子どもの個性のとらえ方とコース設定の見直し イ コース別指導計画の作成 ウ コースの特色や個に応じた教材開発 エ 評価規準の見直しとコース別評価計画の作成 オ コース選択少人数指導で効果的な評価方法の開発</p> <p>学習支援ボランティアの活用 - 1年，2年算数科</p> <p>ア 学習支援ボランティアの募集と確保 イ 学習支援ボランティア活用場面の洗い出しと年間指導計画への位置付け ウ 学習支援ボランティアを生かした，個に応じた教材開発 エ 学習支援ボランティアを活用した学習での評価方法の開発</p> <p>教科担任制 - 5年，6年理科を中心に</p> <p>ア 教師の専門性を生かすための時間割編成 イ 児童の興味・関心に応じた学習の複線化と教材開発</p> <p>ふるさと学習 - 3年～6年総合的な学習の時間</p> <p>ア 年間構想，単元計画の見直し イ 学習支援ボランティアの拡充と効果的な活用 ウ 児童の思いが持続するような，体験と体験を結ぶ支援の工夫 エ 評価規準(育てたい力)の見直しと，次の学びにつながる評価の工夫</p> <p>発展的・補充的学習の時間の確保 - 全学年ぐんぐんタイム</p> <p>ア ぐんぐんタイムの教育課程への位置づけと運営方法の工夫 ・ 1年～5年 算数科の補充的学習を中心に ・ 6年 算数科，国語科，理科，社会科から児童が選択し，発展的学習を中心に</p> <p>イ 複数教師による個別指導や少人数指導体制の確保 ウ 発展的学習と補充的学習のための教材開発</p>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ</p> <p style="text-align: center;">個が生きる学習の創造 - 学び合いがある学習づくりをめざして -</p> <p>研究の見通し(仮説) 各教科・領域で，一人一人の児童が個性を発揮して学び合う「個が生きる学習」を実践していけば，他とかかわりながら自分を伸ばしていける子が育ち，将来に渡って学び続けていく「本物の学力」を育むことができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>「学び合いがある学習」の理論研究...児童の思考力・判断力・表現力を伸長するために</p> <p>コース選択少人数指導 - 3～6年算数科</p> <p>学習支援ボランティアの活用 - 1年，2年算数科，国語科</p> <p>教科担任制 - 5年，6年各教科</p> <p>ふるさと学習 - 3年～6年総合的な学習の時間</p> <p>発展的・補充的学習の時間の充実 - 全学年ぐんぐんタイム</p>
--------	--

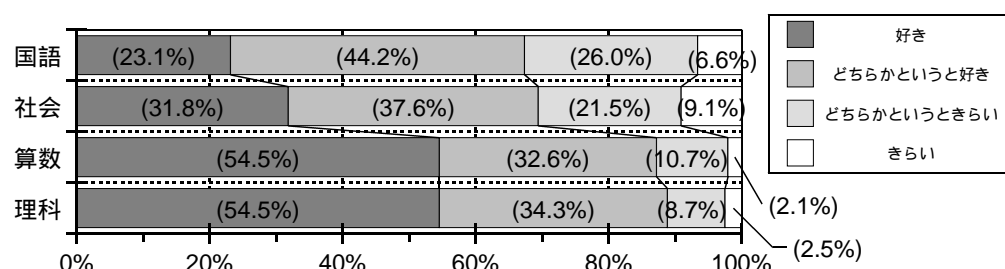
(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

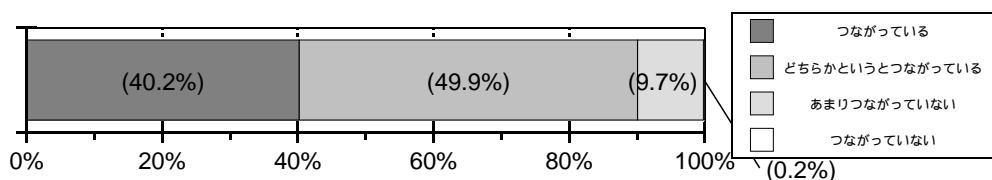
資料1 「 の勉強が好きですか? 」(平成15年12月実施: 4~6年児童242名)



資料2 「平成14年度5年生(1学期)と平成15年度6年生(2学期)の算数科観点別評価の比較」

観点	A			B			C		
	H14	H15	増減	H14	H15	増減	H14	H15	増減
関・意・態	46%	69%	+23	51%	31%	-20	3%	0%	-3
思考・判断	46%	62%	+16	40%	31%	-9	14%	7%	-7
表現・処理	62%	83%	+21	24%	16%	-8	14%	1%	-13
知識・理解	61%	74%	+13	28%	25%	-3	11%	1%	-10

資料3 「本校のフロンティアスクールとしての取り組みは，お子さんの学力や学習意欲の向上につながっていると思いますか? 」(平成15年12月実施: 保護者374名)



コース選択少人数指導

ア 児童一人一人に自分の力やスタイルに合った学習を保障できるようになり，学習意欲の高まりや基礎的・基本的学習内容の定着などの成果が，児童の姿にも教師の見取りにもあらわれてきている。(資料1, 資料2 参照)

イ コース別の年間指導計画が整い，発展的・補充的学習のための教材開発が進められ，個に応じた多様な授業が展開されるようになった。
学習支援ボランティアの活用

ア 低学年児童に基礎的・基本的学習内容の定着を図るために有効であった。

- イ 算数科の授業では、単元末の習熟を図る授業場面で有効であることが明らかになった。
- 教科担任制
- ア 教師の専門性を生かした多様な授業が展開されるようになった。
- イ 複数の教師で見取ることにより、児童が個のよさを発揮する機会が増した。
- ふるさと学習
- ア 問題解決の道を切り開いていく力や学ぶことへのやる気や自信が高まった。
- イ 地域の特性を生かしたカリキュラムが整ってきた。
- 発展的・補充的学習の時間の確保
- ア 基礎的・基本的学習内容を定着させるための全校体制が整い、補充的学習のための教材開発が進んできた。
- その他
- ア 授業公開や懇談会の開催、フロンティアだよりの発行などを通して、保護者の理解が深まった。(資料3 参照)

2. 今後の課題

児童の思考力、判断力、表現力の伸長を図るための指導方法の工夫
 児童の学力の伸びの客観的なデータの収集と分析
 指導体制の接続や相互授業交換などの中学校との連携

学力等把握のための学校としての取組

児童の学習についての意識調査(4学年以上児童、全学年保護者対象：7月、12月実施)
 茨城県学力診断テストの実施と分析(3学年以上児童：4月実施、6月分析)
 CRT標準学力テストの実施と分析(全学年児童：2月実施、3月分析)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年度研究発表会の開催(日時：10月20日、場所：本校、対象：水戸教育事務所管内の小中学校教員および本校保護者)
 群馬県吾妻郡教頭会視察の受け入れ(日時：12月2日、場所：本校)
 広島県須和小学校視察の受け入れ(日時：2月10日、場所：本校)
 本校ホームページで研究成果の公開(<http://www6.ocn.ne.jp/~iwasee/index.htm>)
 教育関係書籍に本校研究の概要を掲載
 茨城県教育委員会発行の広報紙に本校研究の実践の一端を掲載
 その他、本校研究に関する問い合わせに対し、研究資料を送付

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- | | | | | |
|----------------------|---|--|--|--|
| 【新規校・継続校】 | 15年度からの新規校 | <input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | 6学級以下 | 7～12学級 | | |
| | 13～18学級 | <input checked="" type="checkbox"/> 19～24学級 | | |
| | 25学級以上 | | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | T・Tによる指導 | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 一部教科担任制 | <input checked="" type="checkbox"/> その他 | | |
| 【研究教科】 | 国語 | 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 算数 | <input checked="" type="checkbox"/> 理科 |
| | 生活 | 音楽 | 図画工作 | 家庭 |
| | 体育 | <input checked="" type="checkbox"/> その他 | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 無 | |